

2023年に AFC 構内演習林で採集されたカミキリムシ科昆虫

伊藤太陽・岡野哲郎

信州大学農学部

はじめに

2023年に信州大学農学部 AFC 構内演習林においてライトトラップにより採集したカミキリムシ科昆虫の種名および種別個体数のデータを公開する。なお、本調査は2022年より開始した。

方 法

使用したトラップは2022年調査¹⁾と同様で、フライト・インターセプト・トラップ (FIT) である。光源はブラックライト (Oramics 製) を用い、正の走光性がある昆虫が衝突板に当たり、衝突板の下部に付属する水を入れたコップに落下することで捕獲する構造となっている。本トラップの設置箇所は2022年調査¹⁾と同位置とした (図1)。

FIT の設置期間は、2023年6月15日から2023年7月30日までで、降雨などの影響によって設置ができなかった日を除き、1回/日の頻度で捕獲された昆虫を回収した。回収した全ての昆虫について科レベルで分類し、それぞれの個体数を計測した。このうち、カミキリムシ科に属する個体については種同定と種別個体数の計測を行った。なお、和名および学名は、藤田ら^{2,3)} および日本列島の甲虫全種目録 (2023年) (<https://japanesebeetles.jimdo.free.com/>) により行い、小島ら⁴⁾ も参考にした。

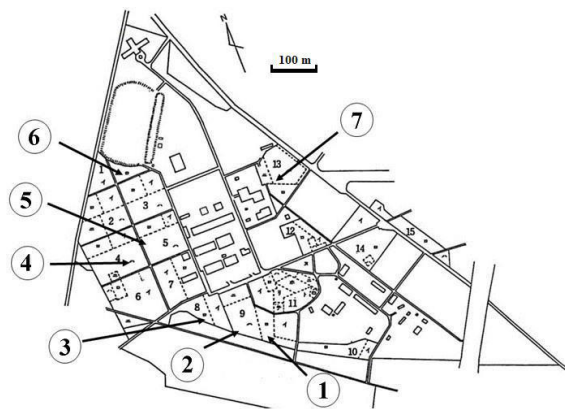


図1 信州大学農学部 AFC 構内演習林における FIT の設置箇所

受付日 2023年12月12日

受理日 2024年2月5日

カミキリムシ科昆虫に関するデータ

表1は採集した全昆虫の科別個体数を示したもので、24科5796個体であった。コメツキムシ科が1980個体 (34.2%) と最も多く、コガネムシ科が1568個体 (27.1%)、カミキリムシ科が1063個体 (18.3%) であった。2022年において、全昆虫の科別個体数は25科5311個体、コガネムシ科1710個体 (32.2%)、コメツキムシ科1438個体 (27.1%)、カミキリムシ科1163個体 (21.9%)¹⁾ であり、今回の採集個体数と比較すると、それぞれに増減は認められたものの顕著な差異はなかった。2022年において5個体のガムシ科昆虫が採集された¹⁾ が、今回は全く捕獲されなかった。

表2は採集されたカミキリムシ科の種別個体数を、FIT 設置箇所毎の個体数とともに示したものである。先述したように総個体数は1063個体で、計15種が確認された。この内、クロカミキリが最も多く、990個体で全体の93%を占めていた。本種は2022年において1141個体 (93%)¹⁾ であったのと比べ個体数は減少したが、全種個体数に対する割合に変化はなかった。なお、今回の調査において、ウスバカミキリ2個体、オオヨツスジハナカミキリ1個体、ミヤマカミキリ1個体、マツノマダラカミキリ1個体、ガロアケシカミキリ4個体、アトモンマルケシカミキリ1個体の計6種が新たに採集された。一方、2022年に採集されたヒゲシロハナカミキリ、ヒゲナガモモブトカミキリ、シラホシカミキリの3種は今回捕獲されなかった。

謝 辞

本調査の遂行にあたり、四ノ宮宏紀氏、本学部造林学研究室の城田徹央助教を始め神江真衣、橋本誠、林和音氏のご助力を得た。ここに深く感謝します。

参考文献

- 1) 伊藤太陽・岡野哲郎 (2023) 2022年に AFC 構内演習林で採集されたカミキリムシ科昆虫. 信州大学農学部 AFC 報告, 21: 63-64.

- 2) 藤田 宏・平山洋人・秋田勝己 (2018) 日本産カ
ミキリムシ大図鑑 (I). むし社, 東京. 324 pp.
3) 藤田 宏・平山洋人・秋田勝己 (2023) 日本産カ

- ミキリムシ大図鑑 (II). むし社, 東京. 407 pp.
4) 小島圭三・林 匡夫 (1974) 原色日本昆虫生態図
鑑 (I) カミキリ編. 保育社, 大坂. 302 pp.

表1. 2023年に FIT により採集された昆虫の科別個体数

上科	科	個体数	%	上科	科	個体数	%
オサムシ	1. オサムシ	609	10.5	ゾウムシ	14. キクイムシ	20	0.3
	2. ゲンゴウロウ	2	0.0		15. ゾウムシ	12	0.2
ガムシ	3. ガムシ	2	0.0	ハサミムシ	16. マルムネハサミムシ	4	0.1
カメムシ	4. カメムシ	5	0.1	ハネカクシ	17. シデムシ	103	1.8
	5. サシガメ	3	0.1		18. ハネカクシ	1	0.0
コガネムシ	6. クワガタムシ	56	1.0	ハムシ	19. カミキリムシ	1063	18.3
	7. コガネムシ	1568	27.1		20. ハムシ	65	1.1
	8. ムネアカセンチコガネ	10	0.2	ヒラタムシ	21. オオキノコムシ	89	1.5
ゴミムシダマシ	9. アカハネムシ	16	0.3		22. オオキノコムシ	4	0.1
	10. カミキリモドキ	51	0.9		23. テントウムシ	1	0.0
	11. ゴミムシダマシ	113	1.9	ヘビトンボ	24. ヘビトンボ	13	0.2
コメツキムシ	12. コメツキムシ	1980	34.2		(計)	5796	100.0
セミ	13. セミ	6	0.1				

表2. 2023年に採集されたカミキリムシ科の種別個体数

種 名	FIT 設置箇所ごとの個体数							計	
	1	2	3	4	5	6	7		
ウスバカミキリ	<i>Aegosoma sinicum sinicum</i> White	1	1					2	
ノコギリカミキリ	<i>Prionus insularis insularis</i> Motschulsky	8	1	4	7	19	2	1	42
クロカミキリ	<i>Spondylis buprestoides</i> (Linnaeus)	93	117	155	26	245	216	138	990
サビカミキリ	<i>Arhopalus coreanus</i> (Sharp)			2	1		1		4
ヨツスジハナカミキリ	<i>Leptura ochraceofasciata ochraceofasciata</i> (Motschulsky)			1			4		5
オオヨツスジハナカミキリ	<i>Macroleptura regalis</i> (Bates)			1					1
ミヤマカミキリ	<i>Neocerambyx raddei</i> Blessig						1		1
チャイロホソヒラタカミキリ	<i>Phymatodes testaceus</i> (Linnaeus)		1	1					2
ニイジマトラカミキリ	<i>Xylotrechus emaciatus</i> Bates					1			1
マツノマダラカミキリ	<i>Monochamus (Monochamus) alternatus endai</i> Makihara						1		1
ビロウドカミキリ	<i>Acalolepta fraudatrix fraudatrix</i> (Bates)	2	1	1		1	1		6
トゲバカミキリ	<i>Rondibilis saperdina</i> (Bates)			1	1				2
ガロアケシカミキリ	<i>Exocentrus galloisi</i> Matsushita			2	1		1		4
アトモンマルケシカミキリ	<i>Exocentrus lineatus</i> Bates			1					1
ヤツメカミキリ	<i>Eutetrappa ocelota</i> (Bates)						1		1
	(計)	104	121	169	36	266	228	139	1063

Longhorn Beetles (Cerambycidae) Taken in AFC Campus Station of Shinshu University Forests in 2023

Taiyo ITO and Tetsuo OKANO
Faculty of Agriculture, Shinshu University